



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 ユナイトアンドグロウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4486 URL http://www.ug-inc.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 須田 騎一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 岡 美恵子 TEL 03 (5577) 2091
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,509	20.8	241	50.7	241	50.8	167	52.6
2020年12月期第3四半期	1,249	5.3	160	0.9	160	2.2	109	△1.8

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 167百万円 (52.6%) 2020年12月期第3四半期 109百万円 (△1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	45.51	42.32
2020年12月期第3四半期	30.15	27.86

(注) 2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,956	1,345	68.8
2020年12月期	1,770	1,189	67.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,345百万円 2020年12月期 1,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,074	19.7	249	15.2	249	15.0	173	8.7	47.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	3,698,400株	2020年12月期	3,648,200株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	26株	2020年12月期	26株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	3,675,306株	2020年12月期3Q	3,635,436株

(注) 当社は、2020年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年11月12日に四半期決算説明資料の動画配信を行う予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの変異株流行による感染者数の急増を背景に第4回目の緊急事態宣言が長期化した一方で、ワクチン接種の進捗により感染症の拡大は徐々に落ち着きを見せつつありますが、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、国内企業のIT化、DX（デジタルトランスフォーメーション）化は急速に一定の拡がりを見せたものの、慢性的なIT人材不足は依然として深刻であり、当社のインソーシング事業及びセキュリティ事業においても新規顧客からの引き合いは増加傾向が続いているため、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,509,390千円（前年同期比20.8%増）、営業利益241,463千円（前年同期比50.7%増）、経常利益241,355千円（前年同期比12.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益167,265千円（前年同期比52.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① インソーシング事業

中堅・中小企業のコーポレートIT部門を対象とした人と知識をシェアする会員制の「シェアード社員サービス」を提供しております。

インソーシング事業では、ユニット体制の小人数化による機動力の向上、スキルレベル定義のハードスキルとソフトスキルの2軸への見直しによる適正な運用を継続するとともに、実働会員へのヒアリング実施によるサービス品質の向上にも取り組んでおります。

新規顧客については、依然として成長企業を中心に当社ウェブサイトからの問合せが多数を占める状況が続いており、会員数は608社（前年同四半期比65社増）、そのうち実働会員数は228社（同34社増）となりました。また、シェアード社員数は育児休業取得等による販管部門への異動が2件あったものの、160人（同7人増）となり、シェアード社員の稼働1時間あたりの売上高は7,718円（同1.3%増）となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高1,395,176千円（前年同四半期比21.0%増）、セグメント利益537,106千円（同23.6%増）となりました。

② セキュリティ事業

キャッシュレスペイメントに関するデータ保護対策のコンサルティングサービス及び教育研修サービスを提供しております。

コンサルティングサービスにおいては、PCI DSS審査対応を年間で平準化して行うサブスクリプション型のサービス（オンクラウドレビュー）が好調に推移しており、改正割賦販売法の2022年度への延期による売上見込みの減少に対して一定の抑制を図ることができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高114,213千円（前年同四半期比18.1%増）、セグメント利益21,436千円（同117.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,956,102千円となり、前連結会計年度末に比べ185,374千円増加いたしました。

流動資産については、現金及び預金186,658千円及びその他流動資産4,751千円の増加、売掛金2,419千円の減少により、前連結会計年度末に比べ188,989千円増加し、1,787,077千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が87,669千円、無形固定資産が22,329千円、投資その他の資産が59,026千円となり、前連結会計年度末に比べ3,614千円減少し、169,025千円となりました。これは主に、ソフトウェア3,289千円の増加、建物3,604千円及びその他有形固定資産2,607千円の減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は610,325千円となり、前連結会計年度末に比べ29,378千円増加いたしました。

流動負債については、前受金121,048千円及び未払法人税等10,309千円の増加、1年内返済予定の長期借入金7,316千円、未払金86,905千円及びその他流動負債6,005千円の減少により、前連結会計年度末に比べ30,411千円増加し、590,070千円となりました。

固定負債については、資産除去債務23千円の増加、その他固定負債1,055千円の減少により、前連結会計年度末に比べ1,032千円減少し、20,255千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,345,777千円となり、前連結会計年度末に比べ155,996千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益167,265千円の計上及び剰余金21,889千円の配当による利益剰余金145,376千円の増加、資本金5,310千円及び資本剰余金5,310千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年2月12日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,566,522	1,753,180
売掛金	13,598	11,178
その他	17,966	22,718
流動資産合計	1,598,087	1,787,077
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	74,520	70,915
その他(純額)	19,361	16,753
有形固定資産合計	93,881	87,669
無形固定資産		
ソフトウェア	19,040	22,329
その他	0	—
無形固定資産合計	19,040	22,329
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,889	8,197
その他	50,828	50,828
投資その他の資産合計	59,718	59,026
固定資産合計	172,640	169,025
資産合計	1,770,727	1,956,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,920	7,199
1年内返済予定の長期借入金	7,316	—
未払金	131,017	44,112
未払法人税等	42,718	53,028
前受金	303,426	424,474
その他	67,260	61,254
流動負債合計	559,659	590,070
固定負債		
資産除去債務	12,205	12,229
その他	9,081	8,025
固定負債合計	21,287	20,255
負債合計	580,946	610,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	305,037	310,347
資本剰余金	284,182	289,492
利益剰余金	600,616	745,992
自己株式	△55	△55
株主資本合計	1,189,780	1,345,777
純資産合計	1,189,780	1,345,777
負債純資産合計	1,770,727	1,956,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,249,304	1,509,390
売上原価	676,862	785,980
売上総利益	572,442	723,409
販売費及び一般管理費	412,208	481,946
営業利益	160,233	241,463
営業外収益		
受取利息	17	14
その他	2	44
営業外収益合計	19	59
営業外費用		
支払利息	209	128
株式交付費	9	39
その他	—	0
営業外費用合計	219	168
経常利益	160,033	241,355
税金等調整前四半期純利益	160,033	241,355
法人税、住民税及び事業税	44,641	73,398
法人税等調整額	5,795	691
法人税等合計	50,437	74,089
四半期純利益	109,596	167,265
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,596	167,265

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	109,596	167,265
四半期包括利益	109,596	167,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,596	167,265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,152,617	96,687	1,249,304	—	1,249,304
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,428	—	25,428	△25,428	—
計	1,178,045	96,687	1,274,733	△25,428	1,249,304
セグメント利益	434,569	9,878	444,448	△284,214	160,233

(注) 1. セグメント利益の調整額△284,214千円には、セグメント間取引消去△25,428千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258,786千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	インソーシング 事業	セキュリティ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,395,176	114,213	1,509,390	—	1,509,390
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,647	800	24,447	△24,447	—
計	1,418,824	115,013	1,533,838	△24,447	1,509,390
セグメント利益	537,106	21,436	558,543	△317,080	241,463

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,080千円には、セグメント間取引消去△24,447千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△292,632千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。